

第2回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」大臣賞を受賞！

SCENE 1

山陽小野田市 LABV プロジェクトの取組が、内閣府による第2回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」の最高位である大臣賞を受賞しました。9月3日に都内で表彰式が行われ、藤田剛二市長と、山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社の代表社員である株式会社合人社計画研究所の山本計至職務執行者ほか関係者が出席しました。黄川田仁志内閣府特命担当大臣からは、「今回受賞された事業が模範となり、全国津々浦々で PPP/PFI 事業が実施されることにより、インフラの老朽化や人手不足等の社会課題の解決や地域の活性化に資することを期待する」とのコメントをいただきました。関係者一同、今回の受賞を励みに引き続き事業に取り組んでまいります。【市HP】



前列左から株式会社合人社計画研究所 山本職務執行者、黄川田内閣府特命担当大臣、藤田市長（写真：内閣府提供）



日本初の LABV（官民協働開発事業体）の手法により整備した A スクエア

SCENE 2

健康づくりを推進 日本生命と協定を締結

健康増進、各種健診の受診促進、健康課題の把握・分析を進め、市民の健康づくりの推進を図ることを目的として、8月28日、市は日本生命保険相互会社山口支社と協定を締結。これにより、本市が進めるスマイルエイジングの取組がより一層前進することが期待できます。



左から藤田市長、日本生命保険相互会社 山本一浩 山口支社長



日本赤十字社地区長である藤田市長が義援金を受領

SCENE 3

被災地の力に 自治会連合会から熊本へ義援金

9月1日、市自治会連合会から、熊本地震の被災地支援として集めた義援金 657 万 281 円が贈呈されました。これは 8/3 ~ 20 の間に市内 292 自治会の協力により集められたものです。藤田市長は感謝を伝え、「速やかに被災地へ届ける」と話しました。